

WTOドーハ・ラウンド（DDA）交渉の現状と見通し

平成23年3月

1. 交渉の現状

- (1) 昨年11月のAPEC/G20のメッセージ
- (2) 本年1月以後の「G11」プロセス
- (3) ダボスでの2つの閣僚会合
- (4) ラミー事務局長による作業日程（4月に議長テキスト、7月に閣僚会合？）

2. 主要国の立場（国内状況と妥結のメリット）

- (1) 米国
- (2) EU
- (3) 中国
- (4) インド
- (5) ブラジル
- (6) 豪州

3. 我が国の対応

- (1) NAMA・サービスでの野心
- (2) 農業の扱い
- (3) ルール交渉への対応（攻めのADと守りの漁業補助金）

4. 今後の予想される展開

- (1) 議長テキスト（最終テキスト？）の提示
- (2) テキストをベースにしての交渉（6月まで）
- (3) 閣僚会合の開催（ジュネーブ）

以上